

手を貸そう  
LEND A HAND

# IBARAKI ROTARY

Club Weekly Bulletin



RI第2660地区 茨木ロータリークラブ 創立 昭和34年(1959年)12月23日



事務局 大阪府茨木市上中条一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL.(072)622-2255 〒567-0881  
 例会 毎水曜日12時30分 いばらき京都ホテル 茨木市中穂積一丁目1-10 TEL.(072)620-2121  
 会長/筒 仁一 幹事/掛谷 建郎 会報委員長/吉江 建郎  
 委員/山口.山田 木本

姉妹クラブ:台北西北区扶輪  
 友好クラブ:インドネシア・チネレ

No.10 平成15年 9月17日

本日の卓話  
 9月17日(水)  
 「地球環境」  
 中西 勝 会員

## 例会記録

第2160 回例会 9月10日(水)晴  
 ロタリーソング「手に手つないで」斉唱  
 ゲスト・スピーカーご紹介  
 浜田千理様(2003~04年度R財団奨学生)  
 山本奈朱香様(2002~03年度R財団奨学生)  
 ビジターご紹介  
 角谷真枝さん(茨木西RC)  
 リザ・ムヒダ君(米山奨学生)

8月ホームクラブ皆出席  
 秋山、藤井、掛谷、簡、松尾、長澤、中江、中西  
 野田、坂井(純)、山田、山口、吉江

## 会長の時間 筒 仁一 会長

9月3日の理事会において下記の2項について決議  
 されましたが、本日の例会において会員の皆様のご承認  
 をお願い致します。

1. 「青少年ニコニコキャンプ」の登録料について  
 他クラブのからの登録料は全額返却いたしますが、

## 出席報告

第2160 回例会			前々回(第2158 回)		
会員数(免除)	出席	欠席	出席率	欠席	補正出席率
34 (12)	14	8	63.64 %	2	90.91 %

当クラブの登録料については、すでに発生した費用の処理に充当させて頂くこと。

## 2. 世界大会の登録料の補助について

US\$300と高額な上、地区から全員登録の要請が来ている状況を考え、本年度の記念事業積立金を登録された方の補助金として使わせて頂くこと。

(拍手をもって承認)

## 幹事報告

久保義誓副幹事

### 1. RI及び2660地区連絡事項

- 1) 地区大会信任状提出依頼
- 2) 「秋のライラ」研修プログラム

### 2. 茨木市、他RCよりの依頼事項

- 1) 市環境美化活動参加要請  
 9/24(水)17:30~18:30 阪急西口駅前集合
- 2) 北摂12RC幹事会の案内  
 10/17(金)18:00~ 於:木曽路 江坂店
- 3) 千里、千里メープルより会報、概況報告書

### 3. 第3回理事会報告

- 1) 10月度プログラムの件 承認  
 11月12日のクラブ協議会(瀧川ガバナー補佐来訪)の前に事前フォーラムが必要な場合、10月22日の卓話時間(掛谷受持ち)をあてる
- 2) ニコニコキャンプ報告の件 承認  
 支出総額は60万9893円。地区からの50万円を引いて10万9893円が当クラブの負担。  
 当クラブ会員の登録料について:返却せず上記当クラブの負担に充当する。次回例会で会長が説明し、会員の了承を得る。

当クラブ会員も登録料を返却し、上記負担は青少年活動予算から支出するとの提案がなされたが、全体の収支が悪化していることなどを踏まえ、登録料は返却しないことに決定(会員の了解が条件)。差額はニコニコ収入に入れる。

### 3) 家族親睦会の件

9月27日の親睦会：現在26人参加、  
忘年家族親睦会は12月24日いばらき京都ホテルで  
予定、12月17日開催の話もあり再調整してもらう。

### 4) 国際大会登録料の件

今年度の記念事業積立金2万円を登録料の補助にあてる。次回例会で会長が提案し会員の了解を得る。積立金の残高が前年度末で1644万円に達していること、国際大会の登録料が高いことが理由。来年度以降の記念事業積立金の問題は別途、議論する。

### 5) 指名委員会委員の件 承認

会長・幹事に一任

### 6) 茨木市美術展に茨木RC賞 承認

5000円×4=2万円

### 7) 社会を明るくする運動への寄付 承認

前年度と同額の3万

## 委員会報告

### 職業奉仕委員会

中江達雄委員長

昨年に続き無事故・無違反チャレンジコンテストに24名の会員の御協力をいただき有難うございました。このほど茨木交通安全協会長のメッセージが届きましたので、御披露します。

どうか皆様の会社の一人一人に今年の全国交通安全運動の方針を伝えてください。これは何回も伝えて欲しいのです。秋の交通安全運動の方針は4項目です。

**先ず老人(高齢者)の事故防止です。**今死亡事故の30%がお年よりです。

**番目はシートベルトとチャイルドシートの着用を徹底することです。**

**番目は迷惑駐車を止めることです。**

**番目は当り前の事ですが「交通ルールを守る」ことです。**

### リザ・ムヒダさんからの御礼

皆様こんにちは、紹介いただきましたリザ・ムヒダです。

先週、私が実行委員会の委員長を務めさせていただきました、インドネシアの留学生による学会「サイエンティフィック・ミーティング・インジャパン」が開催されました。皆様方にサポートいただき大変ありがとうございました。お陰様で、成功裏に会を終えることが出来ましたことを御礼方々ご報告させていただきます。

皆様のサポートのお陰で、学会で発表された論文を本にまとめることが出来ました。これを日本及びインドネシアの全大学の図書館に送る予定です。

学会は9月6日、7日の二日間行われ、インドネシア留学生、日本の学生、大学の教授等、約200人が参加し、研究発表が行われました。また、インドネシアと日本の文化交流がなされ、将来のインドネシアと日本の交流に役立つものと期待されます。

また、今回、大阪大学とインドネシアの大学との間で交流協定が結ばれました。来年からはもっと多くの留学生が日本に来ると思われます。

本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

## 卓 話

### 「R財団奨学生の報告」

#### 出発報告

2003 2004年度R財団奨学生 浜田千理氏

この度、念願かなってイギリスのロンドン大学東洋アフリカ研究スクール(SOAS)に留学することになりました。これまで勉強してきたメディアリテラシー(民主主義を土台に、メディアを主体的、批判的に読み解く能力を身につけること)に新たに文化人類学の視点を加え、女性だけでなく、更に幅広い社会的経済的マイノリティーの視点からどのようにマスメディアと向き合い、自分たちからも発信していくべきかということについてじっくり考えたいと思います。メディアを制作する権力者(ほとんどが男性)は、彼らから見てマイノリティーになる女性、子供、高齢者、身障者、外国人などにある種の偏見を抱きがちであり、作った記事や広告、番組などにはそれらが顕著に表れます。日本では、掃除や洗濯のCMに決まってエプロン姿の女性が出てくるのがいい例です。(最近男性が洗濯するCMが登場しましたが、やはりそれは家族のためではなく、職場の先輩や同僚のためでした。)

これらは、確かに現実の社会を反映している面もあるのですが、同時に、「社会はこんなものだ」という固定観念をおしつけてしまう影響力も持っています。男女の関係もさることながら、これが民族となると迫害や悪くすると戦争レベルまでいってしまう危険性をはらんでいる、それほどマスメディアの影響力は重大だと私には思えます。個人個人がこれらを見抜き、批判し、自分からも意見を発信してみることで、それがこれからは不可欠ではないでしょうか。イギリスではそれらを見抜く目を育てるための教育が義務教育段階から行われているとのことなので、実際に見てみたいと思います。その上で、何らかの形で私も発信できたら嬉しいです。

これらの堅めの勉強もある程度(?)真剣にしつつ、柔らかめのこといろいろやりたいと思っています。とにかく年齢や境遇にとらわれず、いろいろな人達と

人生のいろいろな話題について話したい。それが一番の望みです。30代で、それなりに(まだまだ?)酸いも甘いもかみわけてきたので、各国の人生の達人(?)に教を請いつつ、自分の考えや思いもしっかり伝えてみたいと思います。文化的に多様かつ深遠なロンドン、ヨーロッパでそれをさせていただけるのは本当にラッキーです。打ちのめされることもあるでしょうが、自分で選んだ道に責任を持って楽しみたいと存じます。このようなチャンスを与えていただいて本当に有り難うございます。ロータリーの国際親善の精神を自然体で伝えられるよう、努力してまいります。

## 帰国報告

2002~2003年度R財団奨学生 山本奈朱香氏  
こんにちは。2002年から2003年にかけてカナダのトロント大学に留学させていただきました山本奈朱香です。  
昨年8月27日に日本を出発しまして、今年8月21日に帰ってまいりましたので、ちょうど1年より1週間だけ少ない期間をカナダで過ごしてまいりました。こうして無事に帰ってこられたのも、本当にロータリーのみなさまの支えあってのことだと、深く感謝しております。

去年トロントに到着しました時からカナダのロータリーの方にも、お迎えをいただいたり、家に泊めていただいたり、と本当にお世話になりました。また、トロントに来ていた留学生は全て女性だったということもありまして、みんながすごく仲良くなり、お誕生日会などでひと月かふた月に一度はみんなで集まっていたような気がします。また、顧問の方にはみんな本当によくしていただきましたので、是非一度何かお礼をしたい、と考えまして、みんなでパーティーを催しました。私の住んでいたところで小さなパーティーをしたのですが、留学生それぞれの郷土料理を持ち寄りましたところ、顧問の方たちも大変喜んでくださり、私たち留学生にとっても、いい思い出になりました。

カナダという国は、大変移民の多い国で、到着して1週間くらいの時期に街を歩いていましたら、道を尋ねられてびっくりしたことがありました。日本ですと、外国の人に道を尋ねることなどあまり無いと思うのですが、カナダでは、本当にいろいろな人がいるんだなあ、と実感できる出来事でした。そのようにいろいろな国籍の人がいたことで、「日本人だから、アジア人だから」と言った目で差別をされたことなどもありませんでしたし、本当に住みやすい国でした。

大学院の勉強に関しましては、私は第二言語教育のプログラムにおりまして、主に移民の子どもたちの母語維持の問題について研究していたのですが、先生にも

友達にも大変恵まれて、実りのある勉強をさせていただきました。

私のいたプログラムは、大半が現役か引退した先生だということもありまして、年齢層もまちまちで、また国籍も多様でした。そのようなプログラムに身を置けたことで、貴重な体験をさせていただけた、と思っております。

また、勉強以外にも、バスケットのチームに入ったり、大学のスポーツジムに通ったり、サルサのクラブに入ったり、といろいろな活動に参加していました。特に冬の間は街全体が雪に閉ざされてしまい、なかなか外に出る機会も減ってしまいますので、気をつけて体を動かすようにしていました。

運動も含めてですが、大学院に留学、となると、勉強に気持ちや時間を奪われがちになってしまいますが、できるだけ外に出たり人と会う機会を保つようにしていました。

そのことで友達の和も広がりましたし、また、私を通して日本という国や文化に興味を持ってくれるようになった人たちができて、ロータリーから親善大使として留学させていただいた身としまして、大変嬉しく思っております。

本当に充実した一年間を送ることができ、顧問ロータリアンの簡さんをはじめ、ロータリーの皆様には大変感謝しております。どうもありがとうございました。

## ニコニコ箱

夫人誕生を記念

結婚記念

ホームクラブ皆出席

秋山、橋本(秀)、簡、中西、野田、山田、吉江  
久々にメイクアップさせて頂き有難うございます

角谷  
山本さん帰国報告ありがとう、浜田さん頑張ってください

簡  
地域情報誌「野いばら」創刊号を皆様の温かいご支援で発刊することができました。有難うございました。今後ともよろしくお願い致します

野田  
新世代のための月間に当りR財団奨学生の2人に卓話をお願いし役目と致します 青少年委員長 坂井  
前回欠席しました 藤井

本日計 48,000円

累計 606,700円

## 次回卓話

「家族親睦例会」

親睦活動委員会